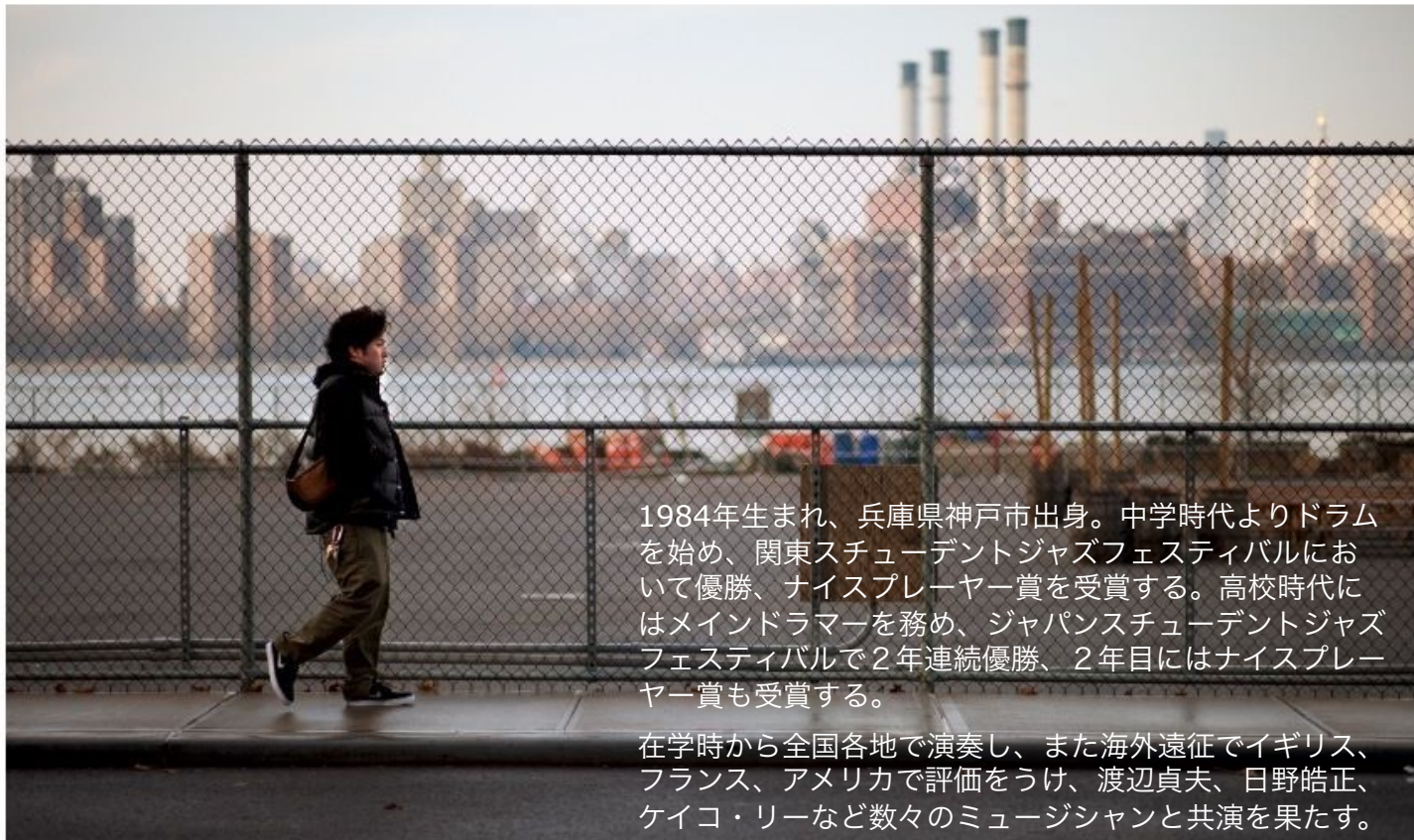


崎田 治孝 (Harutaka Sakita)

ドラム



1984年生まれ、兵庫県神戸市出身。中学時代よりドラムを始め、関東学生ジャズフェスティバルにおいて優勝、ナイスプレーヤー賞を受賞する。高校時代にはメインドラマーを務め、ジャズ学生ジャズフェスティバルで2年連続優勝、2年目にはナイスプレーヤー賞も受賞する。

在学時から全国各地で演奏し、また海外遠征でイギリス、フランス、アメリカで評価をうけ、渡辺貞夫、日野皓正、ケイコ・リーなど数々のミュージシャンと共演を果たす。

甲南大学ではジャズ研に所属、第36回YAMANO BIGBAND CONTESTに出演し、最優秀ソリスト賞を受賞する。この頃から関西のライブハウスを中心に、ジャズコンボや、ビッグバンド、Fusionバンド、インディーズバンドのサポートなど様々なジャンルで個人の音楽活動をはじめ。

2008年大学卒業後、3ヶ月間単身New Yorkに渡米。

Roy Hargrove等、世界的有名ミュージシャンとセッションを重ね、多大な影響を受ける。帰国後、様々なバンドで活動しながら、浅井良将(As)・大友孝彰(P) 出宮寛之(B) らとともに自己のバンド“Swing Jam Band”を結成し、全国各地で活動。

2011年1月より、活動拠点をNew Yorkに移す。

様々なバンドで活動し、NY市内のライブハウスで演奏を重ねる。

2011年12月には、Ryan Brennan organ trioのアルバム『181』に参加し、Cross Town Recordの所属アーティストとなる。

2012年9月よりNew York City Collegeに入学。2013年に大学を中退し、演奏を中心に生活を始め、Joonsam Lee Trio、Yuko Okamoto Quartetでウクライナツアーに参加する。

2015年1月、NYより帰国。

現在、全国各地で势力的に活動中。

